

授業科目名	【G】 人文地理学Ⅱ 【EF】 教養講義(人文地理学Ⅱ)	区分 選択	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・一・一)／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・一・一)					
授業形態	対面授業					
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目 【EF】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「地理学(地誌を含む)」「(中一種免社会)」「人文地理学・自然地理学」(高一種免公民)					
サブタイトル	人間活動の空間的規則性			担当者	伊藤 修一	
授業概要	【概要】	地理学での地域の捉え方の一つには、様々な地域でみられる事象の一般性や法則性を追求する系統地理学的方法がある。この授業ではこの方法に基づいて、具体的な例を通じて、特に都市や商業・工業の空間立地に関する基本的な考え方を概説する。折に触れて実習にも取り組んでもらい、人間活動の空間的な規則性と多様性の理解を深めることをねらう。				
	【到達目標】	都市や商業・工業といった諸産業の役割や位置づけを理解・説明できることと、それらの空間立地の一般性に関心を深めて古典的な立地法則を理解・説明できること、地図や統計図表の読み取りや表現活動を通じて、具体的な地理的な立地現象を理解・説明できることを目標とする。				
履修条件	対面授業の場合は、色鉛筆(2色程度)と定規(20cm程度)のほか、小テストの解答提出のためにスマートフォンなどの情報端末を持参すること。オンライン授業の場合は、パソコン(極力Windows OS)で受講すること。					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)				
他科目との関連性	人文地理学Ⅰ【教養講義(人文地理学Ⅰ)】の履修を済ませていることが望ましい。地理学概論の履修が可能な場合は、履修を済ませていることも望ましい。					
教科書	中学校・高校などで用いた地図帳。それに加えて、授業中に適宜資料を配布する。					
参考書	授業の中で適宜紹介する。					
評価方法	学習到達度(50%程度)と、毎回実施予定の小テスト・課題への取り組み(50%程度)に基づいて総合的に評価する。					
フィードバック方法	小テスト・課題や学習到達度の確認に関する解説などは、次回の授業内あるいはGoogle Classroom内で行う予定である。					
評価基準	授業内容をよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容の理解や表現が不適切な者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容の理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。欠試などで評価不能な場合は「F」とする。					
その他	小テストや授業資料の(再)配布、連絡などのためにGoogle Classroomを積極的に活用する予定である。クラスコードは「gyw537s」。大学より別途クラスコードが提示された場合はそれに従うこと。					

授業 科目名	【G】 人文地理学Ⅱ 【EF】 教養講義（人文地理学Ⅱ）	区 分	開講年次	【G】 1	単位数	【G】 2
		選 択		【EF】 1		【EF】 2
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス／多様な人間活動と空間との関係					
	予習： 授業内容などを理解するためのシラバスの熟読。(90分)		復習： ガイダンス内容の確認と人文地理学の意義の整理。(90分)			
2	都市の定義と問題点					
	予習： 地図帳を用いた日本の行政市の分布の確認。(90分)		復習： 「都市」と呼ばれる地域の特徴と定義の整理。(90分)			
3	日本の都市の分布の特徴					
	予習： 地図帳を用いた日本の行政市の分布の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。日本の都市の分布の特徴と背景の整理。(90分)			
4	都市(商業)の立地(1)―クリスタラーの「中心地理論」の基本原理					
	予習： 日本の都市の分布の特徴と背景の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「中心地理論」による都市の立地の原則の整理。(90分)			
5	都市(商業)の立地(2)―クリスタラーの「中心地理論」の例外原理					
	予習： 「中心地理論」による都市の立地の原則の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「中心地理論」における原則と例外との違いの整理。(90分)			
6	都市(商業)の立地(3)―クリスタラーの「中心地理論」の実際					
	予習： 「中心地理論」による都市の立地の考え方の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「中心地理論」による具体的な地域の説明の整理。(90分)			
7	都市(商業)の立地(4)―クリスタラーの「中心地理論」の実際					
	予習： 課題の目的と内容、作業方法と進め方の確認。(90分)		復習： 課題成果にみられる特徴や傾向の読み取りとまとめ。(90分)			
8	工業の立地(1)―ウェーバーの「工業立地論」の基礎					
	予習： 地図帳を用いた日本の工業生産の分布の確認。(90分)		復習： 「工業立地論」による工場の立地の考え方の整理。(90分)			
9	工業の立地(2)―ウェーバーの「工業立地論」の実際					
	予習： 「工業立地論」による工場の立地の考え方の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「工業立地論」による具体的な地域の説明の整理。(90分)			
10	都市や地域の結びつき(1)―「結びつき」とは？					
	予習： 「中心地理論」や「工業立地論」の概要の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「結びつき」の意味と具体例の整理。(90分)			
11	都市や地域の結びつき(2)―「結びつき」を規定する要因					
	予習： 「結びつき」の意味と具体例の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「結びつき」を規定する要因の整理。(90分)			
12	都市や地域の結びつき(3)―「結びつき」の強さの法則性					
	予習： 「結びつき」を規定する要因の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「結びつき」の強さの法則を導き出す過程の整理。(90分)			
13	都市や地域の結びつき(4)―「結びつき」の強さの法則の応用					
	予習： 「結びつき」の強さの法則の確認。(90分)		復習： 小テストの見直し。「結びつき」の強さの法則の商業的な応用方法の整理。(90分)			
14	都市や地域の結びつき(5)―「結びつき」の計測と評価の実際					
	予習： 課題の目的と内容、作業方法と進め方の確認。(90分)		復習： 課題成果にみられる特徴や傾向の読み取りとまとめ。(90分)			
15	学習到達度確認と質疑応答					
	予習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の確認。(90分)		復習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の説明。(90分)			